

宇都宮市立宝木中学校 キャリア教育部

TEL : 028-621-3959 FAX : 028-627-6312 mail : takara-j@ueis.ed.jp



## 体育祭・修学旅行・宮チャレ…「勝ち組」より「価値組」に

さまざまな学校行事は、楽しさを味わい、友情や絆を育むとともに、企画運営や準備、後片付けなどの場面で、**自己の特性を知る機会でもあります。**人前に立ち先導する役を得意とする、みんなの頑張りを支えるのを好む、計画する、応援する、意見を述べる、調整役を担う……、といった個性です。



さらに**職場体験となれば、人に関わる、ものに関わる、体を動かす、専ら頭脳を働かせる……、自己有用感を得られる場面に気付く機会です。**一人一人が持てる力を存分に発揮し、**集団や社会に貢献することで、勝ち組や負け組のような枠組みではない「価値組」を目指せるようになる**と思います。

文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」は、**学年ごとのキャリア発達の特徴を次のように示しています。**下線をつけた項目は、学校行事で成長を感じる項目でもあります。1年生は夏休み後に冒険活動教室が予定されています。参考にしましょう。



1年	2年	3年
<input type="checkbox"/> <u>自分の良さや個性が分かる。</u> <input type="checkbox"/> <u>自己と他者の違いに気づき、尊重しようとする。</u> <input type="checkbox"/> <u>集団の一員としての役割を理解し、それを果たそうとする。</u> <input type="checkbox"/> 将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解しようとする。 <input type="checkbox"/> 学習の過程を振り返り、次の選択場面に生かそうとする。 <input type="checkbox"/> 将来に対する漠然とした夢や憧れを抱いている。	<input type="checkbox"/> <u>自分の言動が、他者に及ぼす影響について理解する。</u> <input type="checkbox"/> <u>社会の一員としての自覚が芽生えるとともに、社会や大人を客観的に捉えるようになる。</u> <input type="checkbox"/> <u>体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。</u> <input type="checkbox"/> よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。 <input type="checkbox"/> 将来への夢を達成するための現実の問題に直面し、模索する。	<input type="checkbox"/> <u>自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進めようとする。</u> <input type="checkbox"/> <u>社会の一員としての参加には義務と責任が伴うことを理解する。</u> <input type="checkbox"/> <u>係・委員会活動や職場体験等で得たことを、以後の学習や選択に生かそうとする。</u> <input type="checkbox"/> <u>課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。</u> <input type="checkbox"/> 将来設計を達成するための困難を理解しそれを克服するための努力に向かう。

(文部科学省 中学校キャリア教育の手引き 平成23年5月)



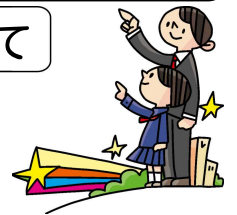
## 「一日体験学習」……何を「体験」してきますか

夏休み期間中に、高校等が行う「一日体験学習」や「オープンキャンパス」がピークを迎えます。**休みの日を使って暑い中、学校生活を体験する以上、実りある一日としたいものです。**3年生のみを対象とする高校がほとんどですが、体験・見学のポイントを次ページに示します。

**1・2年生にとっても、夏休みは進学等について考え、ご家庭で話し合う時間をもつことができる絶好のチャンスです。**なお、宝木中学校では、7月18日の総合的な学習の時間に3年生を対象にガイダンスを行います。

## ◇体験・見学の主なポイント

- 特色選抜で求められる特色(県立)、試験内容(県立・私立)について
- 交通手段など通学に関すること、その他のPRポイントについて
- 行事など特別活動・ボランティアなど校外活動・留学などについて
- 学校の特長(教育目標・校風や部活動・制服など)について
- 学科やコースの特長、授業(教育課程)の内容について
- 卒業後の進路や進学先(希望者数と達成率)について



体験に行く学校について、それぞれどのポイントを優先するかという「優先順位」をあらかじめ考えておきましょう。例えば、「高校卒業後の進路について理想的なのは○◇高校」「部活動に専念するとしたら▽○高校」……というようにです。

それぞれの学校に関する多くの説明(情報)の中から、自分にとって重要なことからを中心に話を聞き、体験を行い、志望校を考えていくためのきっかけにしていきましょう。また、今後、確かめたいと思ったこと、気になったこと、気になりなことなどについてもメモをして記録しておくことで、中学校での懇談や高校等が実施する個別相談会での情報収集につながります。

## 「高等課程の専門学校」「通信制高校のサポート校」…………… 夏休み明けには「出願」がはじまる学校もあります

高等課程のある専門学校は、基本は専門学校で、別の高校(通信制普通科)にも在籍します。普通科目は通信制の教材に取り組みます。高校卒業の資格と専門知識(資格)を取得します。

通信制の高校は、基本的に自習を行い、レポートの提出等で必要な単位を取得、卒業します。また、サポート校やサテライト施設に通うなどして学習を進めます。(進路学習だより3号)

インターネットなどで情報を集めると、9月から出願(関係書類一式を揃えて受験を申し込むこと)が始まる学校もあり、夏休みを前に、すでに数多くの学校説明会や施設見学・体験学習に関するイベントが開催されています。ここ数年で新しくできた学習施設もあり、それぞれの学校が得意とする分野があり、学び舎の雰囲気を知るには、たいへんな時間と労力を必要とします。

さらには、どの学校の説明会でも、「早めに決めた方が『得』ですよ『楽』ですよ」、「早くしないと『定員』いっぱいになって入学できなくなりますよ」といった話をされ、生徒・保護者のみなさまともに焦ってしまい、判断を早まった、と後に気付くケースも珍しくありません。

それぞれの学校の特徴がありますので、実際に見に行き、担当者と話をするのが一番です。どの学校が自分に(お子さまに)ふさわしいかを見るポイントをいくつか紹介します。

- ・中学校までのような「学校生活」「学校行事」に再び取り組みたいと思うか。
- ・中学校までの学習における、苦手を補うことを前提とする学校がよいか、  
高校の学習を進めることを中心に、必要な復習だけを行う学校がよいか。
- ・卒業後の進路は「就職(就職を前提とした専門学校への進学)」がよいか、  
大学進学に適應できる学力を身に付けられれば「大学進学もあり」がよいか。



以上が大まかなポイントです。他にも進学に何を求めるかによって項目は変化します。

高校側が早めの決定を促す理由の一つに、「他の高校を中途退学して編転入してくる生徒」がいる関係で、中学からの新卒生に振り分ける定員が定まらないことが挙げられます。であれば、早めに「併願」で合格(少なくとも4月から「高校生」になれる)という安心感を得ておいて、他の私立高や県立高を受験(受検)していくという考え方もあります。「併願」という受験方法が実質認められない専門学校・サポート校もあります。その他、ご質問や気になる点などについては各学校の担当者や宝木中学校の学級担任(進路指導担当)に、遠慮なさらずにご質問ください。